



☆ 入賞おめでとう

高橋一郎	アサヒカメラ誌	8月号	カラースライドの部	5位	屋上遊園
高橋一郎	キャノンマンスリー	8月号	マスタークラス	ブロンズ賞	開かずの踏切
高橋一郎	日本カメラ誌	8月号	モノクロプリントの部	銅賞	反抗期
井上修一	日本カメラ誌	8月号	カラープリントの部	金賞	道の向こう
井上修一	日本カメラ誌	8月号	モノクロプリントの部	銅賞	冬空
岩城 治	日本カメラ誌	8月号	カラープリントの部	銅賞	カップル
岩城 治	日本カメラ誌	8月号	モノクロプリントの部	銅賞	カップル
水荃 競	キャノンマンスリー	8月号	オープンクラス	ブロンズ賞	光景
水荃 競	第13回 全日本モノクロ写真展			準特選	クライマックス
西田隆雄	キャノンマンスリー	8月号	オープンクラス	シルバー賞	春の休日

☆入賞作品から☆

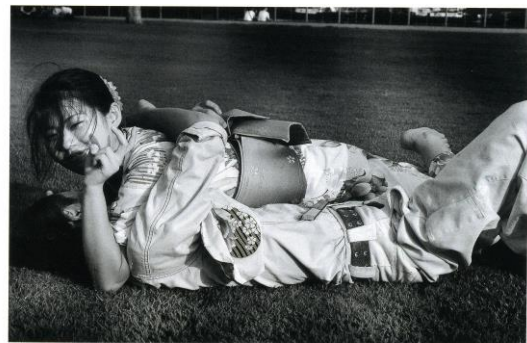
第201回 サロン・ド・ニッコール三席 高橋一郎



3席 「畦を行く」 高橋一郎 (大阪)
D90・AF ニッコール 18-105mm f/3.5-5.6・UV・B オート・ISO800

左に飛んでいるのはバッタでしょうか。遠近感や距離感が面白い作品です。この年配の女性は田を見回りに来た農婦だと書かれていますが、身なりが農婦には見えません。何故か、すべてがフィクションのようで、とても不思議です。実った稲穂と遠くに見える高層マンションも違和感を強めていて、風につままれたような感じがします。

第201回 サロン・ド・ニッコール三席 古木信一



3席 「夕暮れ時」
古木信一 (大阪/堺支部)

D7000・AF ニッコール 16-85mm f/3.5-5.6・f7.1・1/1250秒・ISO800

女子に組み伏せられているように見える男子は、なんだか時代を象徴しているように見えなくもありません。カメラの前で堂々とこんなポーズができるのも、若い人々ならではのストレートな感覚ともいえます。カメラマンも負けじと肉迫して撮った感があります。ただしプリント上の妙な焼き込みはあまり美しくありません。

日本カメラ 6月号 銀賞 市村健次郎



銀賞 建国記念の日 市村健次郎 (一方 堺支部)
ソニー W・D11950・ISO 3000 絞り F8・1/1000秒 エンジン音専用
2月11日の建国記念日。境内には白い陣幕が張られて、日の丸と春祝紀元節の文字が透けて見える。暗れ渡る空。空気は冷たいけれど、ぼかぼか陽気な春の気配が感じられる。そこにリーゼントの見るからに強面の男がタバコを吸っている。その影がシンメトリーになった陣幕に落ちて不思議な世界をつくりあげている。

撮影ガイド

6/30(月) ~ 7/2(水) 愛染まつり 夕陽丘
7月7日(日) 七夕祭り 交野機物神社

★ 撮影会のお知らせ

7月12日(土) しろんご祭り 鳥羽市菅島 AM4:50岩城宅集合、長尾駅5:00集合

7月20日(日) 明石おしゃたか船神事 長尾駅 7:53 発